

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	スポーツ推進委員活動費	本市のスポーツ振興のため、スポーツの実技指導やスポーツイベントのボランティアとして大会運営を支援を行う。	スポーツ推進委員によるスポーツの振興を実施 ・研修会2回/年 60人 ・県研究大会1回/年 40人 ・中国地区大会（コロナのため中止） ・スポーツイベント支援延べ260人	スポーツを行う機会のさらなる増加を図るため、各地区で実施されるスポーツイベントへの講師派遣や地域と連携した共同事業の開催の実施に向けた検討を行う。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	300
2	○	市民総スポーツ運動費	学校の体育施設を一般開放することで、市民がスポーツを行う場を確保する。	学校施設の一般開放によるスポーツの振興 ・一般開放 59施設(小中学校体育施設)	学校施設開放事業の周知を広め、多くの市民がスポーツに取り組む環境が提供できるよう制度整備や市民ニーズに合ったルール改正に努めていく。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	300
3	○	市民体育祭開催費	本市最大のスポーツ大会「鳥取市民体育祭」を開催することで、生涯スポーツの振興や活力ある地域づくりを推進する。	鳥取市民体育祭の開催 ・競技数 17種目 ・参加地区 43小学校区 ・参加者予定 延べ7,317人	新型コロナウイルスの影響により、参加校区数が大きく減少したため、アフターコロナを見据え、市民ニーズに呼応した競技を開催するなど、より多くの校区・市民が参画できる大会を開催し、市民にスポーツを行う機会を提供するとともに地域活性化を図っていく。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	301
4	○	スポレク祭開催費	誰もが気軽に参加できるニュースポーツ等を中心として開催され、ライフステージに応じたスポーツ推進を図る。	・鳥取市スポーツ・レクリエーション祭の開催 日程：令和4年9月3日～9月25日 グラウンド・ゴルフ、ペタンク、ゲートボール、ウォーキング、ドッジボール、ラジボール卓球、バウンドテニス、羽根っこゲーム、ラダーゲッター、ポッチャ、ニュースポーツ体験会、ダンス、スケートボード 計13種目 667人 中止：バウンスボール、ソフトバレー、ボウリング 計3種目	本大会は、スポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、健康で明るい生活を送るため、積極的にスポーツ活動に参加していただきスポーツ振興を図ることを目的としており、障がいの有無を問わず老若男女が取り組める競技会である。ルールがやさしく、年齢や体力にかかわらず誰もが楽しめる競技会であることを広くアピールし多くの参加者を募りたい。	企画推進部	生涯学習・スポーツ課	301

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
5	○	麒麟のまち交流スポーツ大会事業費	アマチュア団体が開催するスポーツ大会及びイベントに対し支援を行うことで、民間活力を活用した麒麟のまち圏域のスポーツ振興を図る。	①鷺峯山麓ハーフマラソン【1,000千円】 日程：令和4年11月27日 参加：687人 ②麒麟のまちジュニアバドミントン大会～藤井瑞希カップ【1,000千円】 (バドミントン大会) 日程：令和4年12月10、11日開催 参加：1,196人 ③第3回麒麟のまちBEACH SOCCER GAMES【1,500千円】 日程：令和4年10月9日、令和5年3月25、26日開催 参加：1,196人	コロナの影響があるものの、民間主導で進めるスポーツ活動は確実に広まっている。大会を運営するノウハウも民間に備わってきており、補助金制度について周知を進めより多く開催されるよう工夫して取り組みたい。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	302
6	○	ガイナレ鳥取力向上事業費	鳥取県唯一のプロサッカーチーム「ガイナレ鳥取」がAxisバードスタジアムで試合する際に各種事業を実施することで、本市の賑わい創出を推進する。	「ガイナレ鳥取」を活かした賑わい創出 ・ホームゲーム開催時の総合的な交通対策 ・市の情報発信（4回実施） ・飲食ブースの出店支援（バードスタジアム開催13試合分）	プロスポーツ観戦はスポーツ機運を上昇させるだけではなく、本市に賑わいをもたらす経済効果もあることから、引き続き多くの誘客に向けた事業に取り組む。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	302
7	○	子どものころづくり支援「夢の教室」事業費	スポーツや文化、芸術の分野で活躍した著名人等を「夢先生」として迎え、小学5年生及び中学2年生を対象に「夢の教室」を開催する。	夢の教室の開催 ・実施 22クラス（オンライン開催）	児童生徒等に大変好評であり、著名人と接することは児童生徒についてもいい経験となっている。令和5年度は対面形式にて本事業を継続していきたい。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	303
8	○	東京オリ・パラレガシー継承事業費	東京オリパラのホストタウン事業やキャンプ地運営のノウハウを活かし、今後のスポーツ交流やスポーツツーリズムの振興を図る。	〔大会へのパラリンピアンへの派遣〕 計画していたスポーツ大会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となったため、事業自体も取りやめとした。 〔キャンプ合宿の受け入れ（パラ卓球）〕 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により競技団体がキャンプ実施を断念したため、事業自体も取りやめとした。	〔大会へのパラリンピアンへの派遣〕 新型コロナウイルスの影響により3年間（令和2年度～4年度）取りやめとなっているが、再開の際には早めの準備に取り組む。 〔キャンプ、合宿の受け入れ〕 引き続き、競技団体や関係機関等にキャンプ等の誘致を要請するとともに、受け入れ態勢の構築に取り組む。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	-

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
9	○	地域運営型部活動推進モデル事業費	部活動の地域運営を実現するため、地域団体と連携しニーズ調査及び事業スキームの策定を行い、事業検証を行う。	1部活について、地域指導者による部活動を数回実施した。また2部活において、部活動指導員となる人材を発掘し、学校に派遣した。	「鳥取市部活動の地域移行の在り方に関する第一次提言」を踏まえ、学校・地域・競技協会・競技団体等と連携を図りつつ、指導者の育成、人材確保を進めるなど、地域移行を推進していく必要がある。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	303
10	○	市民体育館等再整備事業費	鳥取市民体育館の再整備をPFI方式で令和2年度から着手し、令和5年6月開業を目指して推進するため、再整備事業に係るモニタリングを実施する。	毎月、定例会を開催し、事業者のセルフモニタリングの内容や要求水準等に対する実施状況についてモニタリングを実施した。設計・建設に係るモニタリング 12回 開業準備に係るモニタリング 10回	令和5年度以降については運営管理に対しモニタリングを実施することとなるが、職員のみでモニタリングを行う事となるため、研修会を開催するなど、専門的な知識の習得が必要となる。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	304